

令和3年度																											
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習 時間数	6 時間																								
講習の名称	【選択】音楽理論	講習形態	講義 実習 (遠隔授業)																								
開設者	長崎大学	定員	5名																								
開設日/時間	令和3年6月26日(土) / 8:25~15:50	会場	インターネットに安定して接続できる場所(職場もしくは自宅など)																								
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校・高等学校(音楽) 教諭																								
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 三上 次郎(人文社会科学域) / mikami@nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2344																											
担当教員(分担担当者等)																											
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 音楽鑑賞授業に使用する作品を選択し、そのアナリゼを試みる。 講習方法: 楽曲分析の基本的方法を考察し、それを基に実作品のアナリゼを行う。 講習到達目標: 楽曲を挟んで、作品について討論ができる。																											
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要) アナリゼを通じた楽曲の理解について考える。作品のアナリゼを通して、受講生各自のアナリゼのプレゼンテーションを試みる。 講習計画・内容																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容等</th> <th>時間</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オリエンテーション</td> <td>8:25~8:30</td> <td>三上次郎</td> </tr> <tr> <td>講義(楽曲分析入門)(休憩10分を含む)</td> <td>8:30~10:40</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>講義(楽曲分析の実践)</td> <td>10:40~11:40</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>休憩(50分)</td> <td>11:40~12:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実習(楽曲の分析実習)</td> <td>12:30~15:00</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>休憩</td> <td>15:00~15:20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実習(分析した楽曲を交えた討論)</td> <td>15:20~15:50</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>				内容等	時間	担当教員	オリエンテーション	8:25~8:30	三上次郎	講義(楽曲分析入門)(休憩10分を含む)	8:30~10:40	〃	講義(楽曲分析の実践)	10:40~11:40	〃	休憩(50分)	11:40~12:30		実習(楽曲の分析実習)	12:30~15:00	〃	休憩	15:00~15:20		実習(分析した楽曲を交えた討論)	15:20~15:50	〃
内容等	時間	担当教員																									
オリエンテーション	8:25~8:30	三上次郎																									
講義(楽曲分析入門)(休憩10分を含む)	8:30~10:40	〃																									
講義(楽曲分析の実践)	10:40~11:40	〃																									
休憩(50分)	11:40~12:30																										
実習(楽曲の分析実習)	12:30~15:00	〃																									
休憩	15:00~15:20																										
実習(分析した楽曲を交えた討論)	15:20~15:50	〃																									
キーワード (楽式論) (フーガ) (ソナタ)																											
成績評価の方法	プレゼンテーションの完成度を評価する																										
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。																										
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。																										
教科書・教材・参考書	特になし																										
各自で準備するもの	パワーポイントが作成できるノートパソコン、USBメモリ。 遠隔授業に使用するカメラおよびマイク ※パソコンに内蔵されていればカメラ・マイクは必要ありません。																										
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。																										

